

カビ取り剤の種類・効果・使用方法の比較

①インナーミル 550

ほぼ無臭、白色・スラリー状・水分散タイプ

水性塗料やコーティング剤のような水性系の様々なバインダーに混入し定着させることで効果を発揮する

細菌 69 菌、真菌 159 菌、藻類 25 菌の計 253 菌に対して強力な抑止力を持つ遅効性(効果がゆっくり現れる)で、持続性のある薬剤種類を選ばず、広範囲の微生物を抑止

②スーパーミル 88

無色・透明・無臭

既存の殺菌剤である次亜塩素系やアルコールと違って、即効性、持続性がある噴霧などで定着性は無いが、表面に乗っている限り作用は持続する

通常は数カ月に一回の噴霧を継続して行く事で施設内の壁、天井などの微生物の低レベル抑止が可能となる

噴霧: 食品工場や介護施設などの建物内部の衛生管理剤として壁や天井に噴霧するだけで持続的な除菌効果を発揮する

浸漬: 蛋白分解能力があるので、病院における手術器具類や食品製造用の器具類や部品を液に浸漬して付着した蛋白の残渣を取り除く

清拭: 掃除・清掃時の浴室・風呂・台所・ゴムパッキン黒カビの除去

③カビ取り万能選手 (室内向け)

乳白色、ほぼ無臭

水性エマルジョン系防カビ剤 標準塗布量は m^2 当り 80~100g/ m^2

下地を選ばない強力密着・画期的な防カビコーティング剤

水溶性でありながら耐薬品、耐水、耐食性に優れ、長期耐久性の特性を有します。

乳白色ですが乾燥後ほぼ透明になります。

F☆☆☆☆取得済 (登録番号 T18008)

④ストップ THE カビ (室外向け)

乳白色・無臭、刺激臭無し

クリア系アクリル・コート材

有機系の防カビ/抗菌コーティング剤

塗ると風合いは若干変化することがある

下地を選ばない密着力(除くテフロン・シリコン)

やや粘度の有るクリア系のコート材を、そのまま対象となる建材の表面に塗布して抗菌・防カビ化が図れる。

一旦塗布すればヌルヌルも抑制され、最低 5 年間はカビの発生を抑止

空調機器/シンク周り/ドレンパン/食品工場/冷凍倉庫などに最適

標準塗布量は m^2 当り 80~100g。

促進耐候性試験:3000 時間(実耐候 10~15 年相当)

⑤カビ取り剤カビサール

無色・透明・刺激臭

主成分は次亜塩素酸ナトリウムの漂白剤で殺菌能力・漂白能力に最も優れた薬剤
やや黄色掛った透明の液体で発砲タイプ、泡が汚れに密着し効果的にカビを落とす
浴室タイル目地、結露しやすい窓枠、キッチン、水廻りのゴムパッキンにも使える

隅部や手の届かない細かい場所に浸透しカビを退治する

瞬時にカビを除去しますが、漂白カビ取りなので効果の継続・持続性はない

使用中次亜塩素の臭いが漂うのでよく換気をしながら使うことが大切

⑥強アルカリ電解水 JuJu(ジュジュ)

無色・無臭

特許装置により水を電解して得られた pH13.0 の強アルカリ電解水で殺菌能力が有り、
また脂質(油)に対する洗浄能力に優れている

脱脂、消臭、除菌、防錆、洗浄、除カビに優れた効果を持った機能水

わが国で初めて 13.0 まで pH 値を上げる事に成功

(JuJu を約 3 倍に希釈すると pH12.5 になることでもその差がわかる)

水に食品添加物用炭酸カリウムを電解促進剤で入れるだけなので安全

(塩化カリウム系促進剤を使用した電解水等とは異なり強い臭気や有毒ガスの発生はない)